

§ 協会の動き（平成 23 年 4 月分）

東日本大震災について

この度の震災で、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
また、一日も早く復興がなされますことをお祈りしております。

この震災に関する当協会の現在までの取り組みは次のとおりです。

3月11日（金）午後2時46分頃に発生した「東日本大震災」は、さいたま市大宮区でも震度5強という大きな揺れでした。発生直後から埼玉県との「災害時における電気設備等の応急対策業務に関する協定」及び、当協会が策定した「災害実働マニュアル」に基づき、“災害対策本部”を立ち上げ、緊急連絡網で各支部の非常配備体制を整えました。通信網が混乱する中のこの作業は困難を極めました。同時に県からの様々な協力要請は、週を明けてからも続きました。15日以降になると、東京電力が実施する「計画停電」に関連した対応協力要請が寄せられるようになりました。この頃は、発電機の燃料となるガソリンが入手困難となり、大変苦労いたしました。3月下旬になると双葉町などからの被災者の受入れ施設の設備工事等の要請が頻繁に寄せられました。

また、県警からも「計画停電」時の対応のための発電機貸出要請があり、当協会では供出可能個数を速やかに提示し、全面的に協力させていただきました。このことが評価され、4月25日（月）感謝状をいただきました。

「想定外」、「未曾有」という言葉が飛び交い、被災地の悲惨な状況の映像を毎日目にし、当協会でも何かお役に立てないかということで、3月29日開催の理事会において義援金を募る事を決定いたしました。全会員96社（通常67社、賛助29社）へ呼び掛けたところ、沢山のご協力をいただきました。総額100万円の義援金を4月7日（木）に日本赤十字社埼玉県支部長上田清司氏（埼玉県知事）をとおして被災地へ寄付させていただきました。



[義援金寄付の様子]

（社）埼玉県電業協会では、今回の震災を教訓に災害時の対応策についての見直しを早急に進め、更なる体制の強化を図っているところです。

また、県内外の災害復旧のための技術者応援要請にも、いつでも応じられるような体制作り着手しております。

当協会では、今後も継続的に被災地の復興のため、県との協定に基づき、出来る限りの応援対応をしていく所存です。

第二種電気工事士試験対策講習会（上期筆記）1日コースの実施

本年度より会員企業の社員への資格取得支援事業として、また、電気工事について、広く一般の方へ啓蒙し、普及させていく活動の一環として、電気工事の入門的資格である「第二種電気工事士」試験の上期筆記試験対策講習会（1日コース）を4月23日（土）に大宮ソニックシティで開催いたしました。

お仕事をお持ちの方でも気軽に受講していただけるよう、講習は1日のみといたしました。このため講習内容は、出題頻度や重要度の高いものから順に学習し、内容の理解度よりも、“どうしたら合格ラインに到達するか”に重点を絞りました。

当日は、雨にも関わらず全員出席され、講師の丁寧で熱心な指導に、受講生は一言も聞き漏らさないよう真剣に取り組んでおりました。講義終了後に行ったアンケートでも、“先生の話が分かりやすかった”、“試験へのコツが掴めた”、“もう少し講義を受けたかった”などのご意見をいただきました。上期筆記受験生の方は6月の本番を目指して頑張ってください。

なお、上期筆記試験合格者及び筆記試験免除者を対象に「上期技能試験対策講習会」を7月9日（土）大宮ソニックシティにて行う予定です。案内書の配布・受付の開始は5月中旬を予定しております。当HPにも掲載いたしますので、興味のある方は、是非チェックしてみてください。



[講義風景 その1]



[講義風景 その2]

平成23年度1級電気工事施工管理技術検定試験 受験準備講習会（学科コース）開講

平成23年度1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会（学科コース）が4月21日から開講いたしました。本年度は、21名の受験予定者が参加し、例年通り5日間の日程で行われます。

この資格は難易度の高い国家資格で、試験も学科を6月、実地を10月と分けて実施されます。

当講習会では、過去問を中心とした模擬試験 個人指導・重要ポイント講義を繰り返し行うことで、初学者から経験者まで様々なレベルに合わせた学習ができると好評な講習会です。毎年多数の合格者が誕生しております。



[熱心に講義を受ける受講生]



[模擬試験に取り組む受講生]

平成23年度新入社員研修会を開催

本年度の新規採用社員(前年度中途採用者含む)を対象に、4月4日・5日の2日間にわたり実施しました。13社31名の新入社員が参加しました。

今年度より電気工事業の新入社員に必要な「労働安全衛生法に基づく雇入れ時の安全教育」のみに特化する研修として実施しており、工事現場での危険はいつも身近にある。安全とはどんなものなのか。危険を回避するにはどのような点に注意すれば良いのか。現場での頼関係の構築は大切な事。資格を取得する事は自分の糧となるので積極的に挑むこと等々、様々な内容を講師の体験談を交えながらの2日間でした。カリキュラムを無事終了した受講生には、修了証を手渡しました。

修了時のアンケートには沢山の夢や希望が書かれておりました。“早く一人前になりたい”、“大規模設備工事に携わりたい”、“誇りを持てる仕事がしたい”、“知識、技術に自信が持てるようになりたい”、“資格を取り、幅広く仕事をしたい”、“事務職として、現場の方々が安全に安心して作業に集中できるようサポートできる事務員になること”、“人々の役に立つ工事をしたい”、“独立したい”等々、現在、それぞれが各会社で社会人としての第一歩を踏み出していることと思います。

新入社員の皆様のご活躍をお祈りしております。



[受講生集合写真]